

RYU'S CLUB

今年は勝負の年。 国会論戦で高市政権と 堂々と対峙し、改革中道 勢力の結集を目指す!!



笠ひろふみ

りゅう
元文部科学副大臣

衆議院議員 党国会対策委員長

皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年が皆さまにとって充実した素晴らしい年になることを心よりお祈り申し上げます。

昨年は、政局が大きく動いた年となりました。夏の参議院選挙で自民党が惨敗したことを受けて、石破総理が退陣を表明し、3カ月の政治空白が生じた後に、高市政権が発足しました。26年間続いた自民党と公明党の連立政権が終焉を迎え、新たに自民党と日本維新の会による連立の枠組みとなりました。高市政権と初めての論戦となった臨時国会では、与野党逆転の成果として、51年も続いてきたガソリン暫定税率を廃止することが出来ました。

1月23日に召集される通常国会では、与野党伯仲している状況を生かしながら、野党第1党として、高市政権に対するチェック機能をしっかりと果たしてまいります。高市総理は「責任ある積極財政」を掲げ、臨時国会では18.3兆円もの巨額の補正予算を成立させました。この中では、総額2兆5000億円にも及ぶ基金への支出など、財政法が補正予算に求める「緊要性」の要件を明らかに欠く支出が多数計上されました。財政悪化懸念は強まり、円安が進行し、長期金利も上昇しています。来年度予算案も122兆円を超える過去最大規模になっています。真に必要な中身になっているのか省庁別によりしっかりと精査して、予算委員会での質疑を通じて厳しく質してまいります。同時に、財政規律を維持して過度な円安を防ぐための具体的な修正案も示しながら、建設的な論戦を展開してまいります。政治とカネの問題についても、これ以上の先送りは許されません。野党が連携して、企業団体献金の制限・規制強化を実現できるように取り組んでまいります。

今年には勝負の年になる可能性もあります。高市政権は、維新の要求を受け入れ、外交、安全保障、憲法改正、外国人政策などで右派色の強い政策を掲げています。これに対して、私たち野党が、改革中道勢力を結集して、国民の皆様には新たな選択肢を示すことができるかどうか問われています。本年は午(馬)年です。「奔馬の如く」力強く前へ進むことができますように頑張ってください。



野党第一党の国会対策委員長として与野党協議の先頭に立つ!!

▼ ガソリン暫定税率廃止を実現

野党7党で共同提出した「ガソリン暫定税率廃止法案」を直ちに成立させて、年内に廃止する方針を確認し、与野党国対委員長会談で強く申し入れました。



野党国対委員長会談 10月22日



与野党国対委員長会談 10月22日

⇒11月28日に廃止法が成立し、ガソリン税の暫定税率(1リットルあたり25.1円)は12月31日で廃止され、軽油引取税の暫定税率(1リットルあたり17.1円)も今年の4月1日から廃止されることになりました。51年ぶりの廃止は参院選での与野党逆転の成果です。

▼ 政治改革について

自民・維新は唐突に衆議院議員の定数を1割削減する法案を提出しました。与野党協議が1年経ってもまとまらなければ、小選挙区25、比例区20を自動削減するとの内容です。定数削減は必要ですが、与党2党だけで結論ありきの乱暴なやり方は断じて許されません。現在、衆議院議長の下に「選挙制度に関する協議会」が設置され、全ての党会派が参加して、選挙制度のあり方と定数の問題について協議が行われています。ここでしっかりと議論して幅広い合意形成を目指すべきです。

一方、企業団体献金の規制強化については、結論が出ずに先送りされました。通常国会では、政治とカネの問題に決着をつけることを最優先に取り組んでまいります。



自民党との国対委員長会談 12月8日

政治改革特別委員会では、企業団体献金の規制強化法案の審議を優先して行う方針を確認しました。この後、自民党の梶山国対委員長と会談し、企業団体献金の問題が決着するまで定数削減法案の審議には応じられない旨を伝えました。

10月21日 臨時国会召集



高市新総理の就任挨拶



石破前総理の退任挨拶



本会議前に開かれる代議士会で国会の動きなどについて説明します



予算委員会が開かれる日は朝8時から質問について打ち合わせします



マスコミ対応も国対委員長の重要な仕事です

超党派「デフリンピック東京大会推進議員連盟」総会【12月9日】



りゅう
笠は会長代行として大会成功に向けて応援してきました。観客は10万人の目標を大きく上回る約28万人。日本選手団は過去最多の金メダル数16個、メダル総数51個を獲得するなど大活躍でした。



横浜市立北綱島特別支援学校【12月15日】



学校図書館議員連盟の事務局長として特別支援学校の図書館の現状を視察しました。